

第 105 回番組審議委員会議事録

日時：令和 5 年 7 月 19 日（水）13 時 30 分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原 2 丁目 10 番 20 号）

1. 委員総数 8 名

2. 出席委員数 4 名

3. 出席委員の氏名

稲葉美津江 委員長・青木洋一 委員・吉野渉 委員・内藤佑樹 委員（順不同）

4. 放送事業者出席者名

小沢教司 代表取締役社長 山本茂放送局長

山本：本日はお越しいただきありがとうございます。今日は 105 回目の番組審議となります。まずは稲葉委員長から一言お願い致します。

稲葉委員長：こんにちは、暑い中お集まりありがとうございます。本日も熱い審議をよろしくお願い致します。

小沢：小沢：本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。お陰様で決算（第 18 期）が出ました。行政（市）からの出稿料が 600 万減少となりましたが、民間及び携帯トイレの売り上増加により、行政からの落込みをカバーでき、昨年並みの売上と利益を上げることができました。14 期連続で利益を計上することができましたのも、皆様の日頃のご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

本日も忌憚のないご意見をお願い致します。

山本：前は f-times という番組の「富士山背百景プロジェクト」についてご審議いただきましたが、ここ数年では新しいコンセプトで SNS を使った番組で、今後は私たちもセミナー等を受けて試行錯誤しながら、良い番組を作っていければと考えております。

今回、ご審議いただくのは、毎年恒例となっている「富士球場！全力ライブ」の高校野球を生中継する番組です。地元の企業の協賛をいただいて開催しています。今回は 7 月 8 日土曜日の第一試合の中継一部をお聞きください。

番組審議

- ・ 審議番組 高校野球生中継 「富士球場！全力ライブ！」
- ・ 放送日時 令和5年7月19日（土）10：00～
- ・ 出演 実況ワタナベ ゴリラ 他解説2名
- ・ 番組編成制作方針、説明
- ・ 質疑応答

山本：それではご審議のほど、よろしくお願い致します。

約10分後

稲葉委員長：それでは番組審議をしていきたいと思います。
ご意見よろしくお願い致します。

青木委員：去年解説を担当した卒業したばかりの大学一年生の解説は良かった。今回はそこまでフォローできていない様に感じた。今回実況をしたワタナベさんは実況をやるという機会はあるのか？

山本：スポーツ関連だと、その場を盛り上げる司会をしていたと聞いていますが、こういった解説は初めてだと思います。

青木委員：スタンドインタビューやレポートはやらないのか？

山本：応援のレポートを昔やっていた。ただ、シンプルな形を目指して徐々にレポートはつけなくするようになっていきました。

内藤委員：昔は応援団のインタビューをしていたと思うが、臨場感があってよかったと感じた。

山本：昨年の番組審議委員会でも、高校野球の中継をご審議いただきました。その際、臨場感があってもよいのではというお話がありました。そのご意見を踏まえ今回はスタンドに設置したマイクの音量を大きくとってみました。ただ、昨年の高校野球は声出し応援が無かったので、臨場感に欠けていたのかもしれない。

吉野委員：提供していただいている、クレジット（会社名）が聞こえずらかった。実況のなかにも球場の状況が伝わってきてよかったと感じた。一つ付け加えるなら、選手の気持ちや様子、「気合が入ってますね」「緊張してますね」などを伝えるとより良かったと感じた。

内藤委員：たしかに、プレイしている選手の位置関係が分かるとイメージしやすく、聴いている側も盛り上がったのかもしれない。また、解説者が野球部 OB なので、内輪の話にならないか？と不安に感じていたが、しっかりとした解説をしていると思いました。

稲葉委員：昨年同じ番組を審議した際、「ラジオを聴いている人が分かるように」と意見を言わせていただきましたが、今回は実は私自身も少し球場におり、ラジオも聴いていたんですが、ラジオを聴いている人が解るように解説していきしっかり出来ていたと感じました。

山本：言葉の詰め込み方はうまかったと思います。実況したワタナベ自身野球をやっていたので、野球をやっていた人と、野球が好きで見ている人と発信の方法は良い意味で変わると考えております。

青木委員：実況者、解説者ともに母校であるならば、もう少し地域感を出してほしかった。「高校への道のりや、大変だったこと。」高校時代の話や、また選手の普段の学校生活などを事前に調査して番組の中で取り上げるとより良かった。

稲葉委員長：たしかに、もう少し選手や高校の情報があっても良かった

。

山本：確かに、「高校野球の中継」は地元高校を「えこひいき応援」とうたっているのも、テーマにあっていると思います。

内藤委員：地元だけを「えこひいき応援」という考えは良いと思う。

吉野委員：スポーツ系の実況としてはラジオエフでは「女子駅伝」もあるが、今回の「高校野球」の方が、信ぴょう性があると感じた。

山本：駅伝は色々な制約があるので、リスナーの心をつかむのが難しいと感じています。

青木：前回の審議したのは SNS 中心にした番組で、今回はローカルネタが多くバランスがとれているのでは。

稲葉委員長：地元の高校の名前が出て、地元の選手の名前が出るなどして聞いている人も親近感がわいて全体的によかった。

山本：ありがとうございます。

小沢：それでは今日はこれで終わりたいと思います。

次回は9月20日水曜日ということでまたご都合のつく方をお願いしたいと思います。

議事録の公表： 令和5年8月1日 自社インターネットHPにて公表